

日本科学者会議(JSA)山梨支部公開講座

富士山の観光と環境を考える

—富士山登山鉄道計画をめぐって—

日時：2024年10月27日(日) 14時～16時30分

会場：山梨県立青少年センター第1研修室

(甲府市和戸町1303、旧「リバース和戸」)

講師：渡辺豊博 氏

都留文科大学社会科学部元教授・農学博士、NPO法人 グラウンドワーク三島専務理事



講演趣旨：

今の富士山は、インバウンドの拡大により、オーバーユース(過剰使用)の問題が深刻化して、世界の宝物・世界文化遺産として相応しくない、恥ずかしい状態になっています。

そこで、「富士山学」の専門家である渡辺豊博都留文科大学元教授から、最新の富士山情報の提供や世界文化遺産に登録された普遍的価値の意味・意義、富士山の本質性、多様な魅力などについて解説してもらいます。

また、今後の自然環境の改変・破壊が危惧される「富士山登山鉄道計画」や弾丸登山、登山者規制、入山料徴収などの問題についてご提言いただき、参加者と意見交換を行うと共に、日本の宝物・世界の宝物である富士山を、今後、どのように守り、伝えていくのかについても共に考えます。



講師紹介

静岡県職員として、汚れた源兵衛川の計画・実施・再生活動を主導する。

NPO推進室長などの要職を経て、2008年より都留文科大学教授、16年より同持任教授。農学博士。富士山学や市民活動論を講義。グラウンドワーク三島や富士山クラブ、富士山測候所を活用する会など9つのNPO法人の事務局長職を歴任。

主催 日本科学者会議山梨支部

連絡先：宮本和子 055-220-8595 mkazuko@yamanashi.ac.jp

事前申し込みは不要です。転載自由